

わかりやすく、内容も充実した



5回目の発行となる2002年版は、継続性の観点から昨年度の骨格を活かしつつ、新鮮な記事・図表・写真の掲載による内容面でさらなる充実を図りました。また、社外の意見や昨年来の法制度の動向を踏まえ、一層の情報開示に努めるとともに、「わかりやすさ」を主眼とした編集をいたしました。

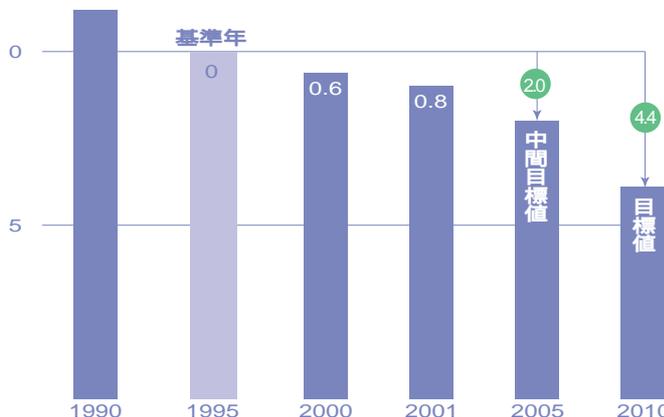
以下に、「環境報告書2002年版」のトピックスを紹介します。

Topics 1 . 新日鉄の二酸化炭素排出量の試算結果を公表

新日鉄は、鉄鋼業自主行動計画（2010年の目標として1990年比エネルギー消費量10%削減）に対応して、1995年を基準とした粗鋼エネルギー原単位を2010年までに4.4%削減することを目標とする長期省エネルギー計画を策定し、実行してきました。その結果、2001年度実績で、0.8%、コークス炉における廃プラ活用効果を含めると1.1%、の改善を達成し、着実に成果をあげています。

なお、2001年度の二酸化炭素（CO₂）排出量は、およそ56百万t CO₂と試算しています。

エネルギー原単位でみた当社省エネルギー率の進展（単位：%）



Topics 2 . 環境保全効果の試算結果を公表

環境保全効果には、数量や具体的な開発事例で表現できるものと、金額換算できるものがありますが、今回、資源循環として、亜鉛ダストやスケール等のリユース・リサイクル物の外販や最終処分処理コストの回避などによる環境保全効果を金額換算し、13億円程度との試算結果を記載しました。

環境保全コスト(投資および経費)

(単位：億円)

項目	2000年		2001年	
	設備投資額	経費	設備投資額	経費
環境対策コスト	70	349	87	338
地球温暖化対策コスト	203	11	261	9
資源循環コスト	48	30	14	38
管理活動コスト		26.2		23.2
研究開発コスト		43		45
社会活動コスト、その他環境コスト		57		51
合計	321	516	362	504

「環境報告書2002」

今回の改訂のポイント

1. 環境会計に関する開示度のアップ
2. 法制定を反映した開示度のアップ
3. 連結経営を反映して、開示対象範囲を関係会社まで拡大
4. エンジニアリングを通じた環境ソリューションへの取り組みに関する記事の充実
5. 環境コミュニケーションに関する記事の充実
6. 環境NGO（地球・人間環境フォーラム殿）など、外部のご意見を反映

お問い合わせ先：環境部 TEL03-3275-6099



Topics 3 . 開示対象範囲を関係会社まで拡大

連結経営を反映し、製品を通じた貢献、環境マネジメント等に関して、関係会社まで記載対象を拡大しました。エコプロダクツの例：関係会社の日鉄コンポジット(株)のNOMST工法や、三晃金属工業(株)のソーラー発電屋根システムを紹介しました。環境マネジメントの例：関係会社環境会議の開催や、関係会社でのISO14001取得例を記載しました。



ソーラー発電システム：
平成12年新エネ大賞「新エネルギー財団会長賞」
平成13年度「グッドデザイン賞」受賞



NOMST工法：
地下トンネル工事において新日鉄の炭素繊維補強材を用いて環境負荷を低減する画期的工法

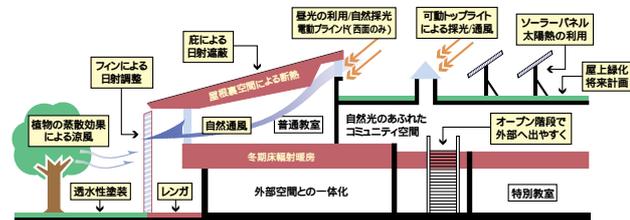
Topics 4 . エンジニアリングを通じた環境ソリューションへの取り組みの紹介

環境ソリューション事業、エネルギーソリューション事業を始めとする、さまざまな分野におけるエンジニアリングを通じた幅広い取り組みを総合的に紹介しました。今回、クリーンエネルギー製造技術として注目されているGTLの提供や、自然光や通風、井戸水を利用した冷暖房・太陽光を利用した発電設備などで設計・建設した、環境にやさしい鉄骨造エコスクール（早稲田実業学校）を記載しました。



GTL：
Gas To Liquid：天然ガス等の気体燃料を、ナフサ、灯・軽油等の液体燃料に転換する技術。

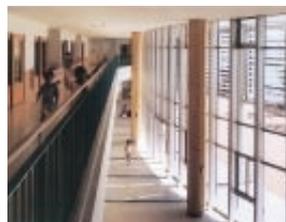
当社の鉄骨造エコスクールの概念図



エコスクール：
環境を考慮して設計・建設、運営され、環境教育にも活かせるような学校施設



初等部の校舎と中庭



初等部校舎の廊下と子供たち

発行部数は、昨年と同様1万部。行政、教育機関、需要家、マスコミ等の関係先に配布し、新日鉄のホームページ（URL <http://www.nsc.co.jp>）を通じて公開しています。英語版は11月中旬を目処に完成予定です。

環境報告書は、今後とも毎年1回発行し、環境に関する社会のニーズや法制化の動向を十分踏まえながら、新日鉄の取り組み姿勢について広く理解を得るため、引き続き情報開示の充実を図り、環境パフォーマンスの向上に努めていきます。